

まちのニュース カメラアイ ～地域の問題をお届けします～



1/16
(金)

良い「ねむり」を学ぶ

公民館恵み野ホールで三笠山大学1月講座がおこなわれました。
講師に旭川医科大学田村義之准教授を迎え「ねむりと健康」と題し、睡眠によって得られる効果、また睡眠時無呼吸症候群といった睡眠障害についての解説がおこなわれ、学生たちは眠りの大切さをあらためて考え、健康な睡眠環境を学びました。



1/15
(木)

お目当てのカレンダーがありました

保健福祉センターで「カレンダーリサイクル市」がおこなわれました。
会場では、家庭や職場、北海道社会福祉協議会から提供されたカレンダーや手帳が販売され、訪れた町民の方々は気に入ったものを探し購入していました。また、ボランティアクラブ手作りの豚汁やおにぎりが提供され、たくさんの方たちでにぎわっていました。
このリサイクル市で得た利益は、町の福祉事業に役立てられます。

おやっこ教室『ぱぱっこくらぶ』

幼児を持つ家庭対象のおやっこ教室がこども館でおこなわれました。
年3回おこなっている教室で、今回は『おとうさん』を対象に野外ではミニ運動会やそり遊びなどを楽しみ、室内では『先輩おとうさん』の佐藤伸二さんを講師に招き、家庭での父親の役割・育児のヒントなどをお話いただきました。参加したお子さんたちは、この日ばかりはお父さんとたくさん遊んでいました。



1/25
(日)



1/26・27
(月)・(火)

慌てず、焦らず、冷静に

町民センター子供会室で一般救命講習会が開催されました。
「いざというとき、AEDを使えるために」と消防職員の指導のもと約80名の町民が参加し、胸骨圧迫や人工呼吸、AEDを実際に操作するなど心肺蘇生法の大切さを学びました。

AED・・・自動体外式除細動器



1/25
(日)

町民大新年会

和寒町商工会青年部主催による和寒町民大新年会が公民館恵み野ホールで開催されました。
会場には約200人の方々が集まり、町民の皆さんにとって飛躍の1年になることを願って乾杯。その後、バンド演奏や抽選会、もちまきなどがおこなわれ、終始にぎわいを見せていました。

1/28 ~
(水)



三和高校冬季スクーリング

1月28日(水)から2月5日(木)で、札幌自由が丘学園三和高等学校及び東京学習センターの冬季スクーリングがおこなわれ、51名の生徒が参加しました。

期間中は、職業体験をはじめ塩狩太鼓やよさこい体験など防寒ならではの体験をおこない、2月1日に開催された極寒フェスティバルに向けて大雪像作りにも挑戦しました。今回は高さ2.7mの雪像ということで、あまりの大きさに驚きながらも一生懸命作業に取り組んでいました。



1/28
(水)

種まきから収穫まで キャベツ掘り体験

和寒小学校3年生22人が農業活性化センターで越冬キャベツの掘り出し体験をおこないました。

北ひびき農協和寒支部青年部(乗田政宜部長)の指導で、毎年町の特産品であるキャベツの栽培に取り組み、種まき・定植・収穫・掘り出しと越冬キャベツが出来るまでの体験をおこなっています。

掘り出したキャベツはジンギスカンと一緒にお腹いっぱい味わいました。



1/31
(土)

和寒でワークショップ! with 現役東大生

和寒の未来を考える会主催(藤井研三郎代表)による、和寒の魅力をもっと発信するための越冬キャベツの新しい食べ方についてのワークショップのほか、数学、考える力の身に付け方、呼吸や身体操作などさまざまなジャンルの学習会がおこなわれました。

東京大学の現役学生や英国ロイヤルバリエ学校出身のプロダンサーらが指導にあたり、参加した小中高校生たちは、東大生の意識や考え方に大きな刺激を受けていました。

2/8
(日)



寒さをぶっとばし交通安全

三和・菊野自治会で「第22回三和しばれぶっとばせフェスティバル&冬の交通安全スポーツの集い」がおこなわれ、自治会員など町民約100名が訪れ地域の冬まつりを盛りあげました。

開会式では、子供会による「交通安全の誓い」を読みあげ交通安全を呼びかけました。また、雪中フラッグやカプセル宝探しなどのゲームや餅つきなどがおこなわれ、厳しい寒さのなか親睦を深めました。

2/3
(火)



鬼は外!! 福は内!!

保育所で、節分の行事「豆まき」がおこなわれました。

当日は、子育て支援センターに遊びに来ている親子も見学するなか、園児たちが「豆まき」の歌を元気よく歌い終わると突然金棒を持った鬼が登場!! 鬼を見て泣いてしまう子、勇気を出して豆に見立てた新聞玉を投げつける子、呆然と立ち尽くす子・・・反応は様々でしたが、みんなで力を合わせて鬼退治をしました。

今年もきっと福の神が来てくれることと思います。